



打つ

揃いま 三拍子

買う

飲む

いいわけすんな!

2022年 11月20日

日曜日

発行 株式会社CIA  
 〒024-577-0075  
 福島県伊達市梁川町やながわ工業団地90番地1

371号

この社外報「いいわけすんな!」は、今まで普通に生きてきた新入社員がCIAという変な会社を理解するためにやらされているものです。

新 天声 珍語

「いやいや、まだお若い!」とか、  
 「まだまだ、現役でやっってくださいよ!!」とか言われて、ふと

恋に胸を つまらせる18歳  
 モチを喉に つまらせる81歳  
 まだ何も知らない18歳  
 もう何も 覚えていない81歳

周りを見渡せば、同級生なんかとつくに悠々自適に暮らしているのを見る今日この頃。中小企業の社長って、いつまで続けられるの、いんでしょうか?  
 心優しい友人から、次のようなメールが届きました。

自分探しの18歳  
 みんなで探している81歳  
 偏差値が気になる18歳  
 血糖値が気になる81歳

恋におぼれるのが18歳  
 風呂でおぼれるのが81歳  
 道路を爆走するのが18歳  
 逆走するのが81歳

心がもろいのが18歳  
 骨がもろいのが81歳  
 ドキドキが 止まらないのが18歳  
 止まらないのが81歳

動悸が 止まらないのが18歳  
 止まらないのが81歳

この三拍子で、残された余生を楽しみたいと思っっています。

早く隠退しようではありませんか、ご同輩!!

FUTEIKI SERIES



営業兼印刷 佐藤貴胤  
 CIAのベテラン印刷オペレーター。急に「営業やれ」と言われ、なんだか分からないまま営業マンへ。いい人。

印刷ベテラン 営業新米 タカツグ 奮闘記

開設 50周年記念事業 「わくわく市場まつり」

印刷オペレーターとして15年以上キャリアを積みながらも青天の霹靂で営業部への異動を言い渡され約1年。がむしやりに成長を目指す40代の希望の星、「営業マン たかつぐ」。これはその奮闘の記録である。

3年ぶりの開催となった「わくわく市場まつり」。新鮮な青果や水産物、色とりどりの花きのほか、様々なステージイベント、さらに市場ならではの「模擬せり」もあり、約3万人の来場者をお迎えし、大盛況で終えることが出来ました。

今回CIAが担当したのは、ステージ設営や音響、会場設営、お客様の誘導、各種印刷物や看板等のサインなど、イベント全体の土台づくりの部分です。

印刷機を動かすのは朝飯前ですが、WordやExcelなんて使ったこともありません。打ち合せの資料を作るため、営業や制作部の人たちに煙たがられながらもしつこく聞きつづけ、なんとか進めました。

ほぼ出来上がった看板に修正が入ったり、突然制作に必要なソフトが作動しない等、肝を冷やす場面もありましたが、不安と苦勞の代償に、最高の達成感を感じた約1か月でした。

今年も映えてる!

「道の駅かわまた」に スノードーム出現



スノードームの中はイベントごとに模様替え予定!

今年で3年目となる「道の駅かわまた」の冬の風物詩「スノードーム」の企画・製作から設置までを担当しています。

巨大スノードームを道の駅かわまた内のセンターコアに設置し、クリスマス、お正月、バレンタインと模様替えをして2023年2月28日まで開催予定。訪れる皆さんへの「川俣からのおくりもの」です。



2022・3年Verは 会場でご覧ください!

昨年のスノードーム

重宝 機関

CIA 株式会社 CIA

024-577-0075

〒960-0719 福島県伊達市 梁川町やながわ工業団地 90-1

株式会社 CIA 検索  
 映像・ドローン・デザイン  
 ディスプレイ・印刷・WEB 他

SNS も色々あります!



インターネットテレビ FDN

伊達市周辺のなんてことはない些細なニュースから、オリジナル番組まで、幅広いジャンルの娯楽をご提供中!





新入社員 フカガワ  
2022年4月入社。今月も海辺を歩いたり山を登ったりで、何の会社に入ったのかよくわからなくなっている。基本は早く帰ってゲームしたい。

### 新入社員フカガワの撮影同行レポート

# 砂浜歩いて15km

今回新入社員フカガワが同行したのは東日本大震災十三回忌奉讃事業「福島浜街道「絆の道」」。砂浜を歩きながらの撮影に必死！

海岸線行脚あんぎゃに密着！

今回は、東日本大震災十三回忌奉讃事業「福島浜街道「絆の道」」のいわき市勿来から新地町までの行脚のうち、塩野崎灯台から新舞子海岸までの約15キロを撮影班として同行しました。

既に何度か海岸線行脚を行っているお坊さん達は、慣れていいのか意外にも歩く速度が速い！機材を持ちながらに加え、普段歩き慣れない砂浜ということもあり、私たち撮影班は砂に足をとられながらも必死で着いていきました。

早朝からの撮影だったため、寒さ対策で温かい服装をしていましたが、歩いてみると暑くなり、夏のように汗をかきました。

お坊さん達は、夏用・冬用の法衣があり、しっかりと使い分けているそうです。天気の良い日も撮影には必要なんだと痛感しました。



お坊さん視点の様子 (GoProで撮影)

撮影手法もこだわりました

また、海に「ふざん経」を挙げている様子をドローンを使って撮影したり、GoProゴプロ(小型軽量デジタルビデオカメラ)を装着してもらい、お坊さん視点で歩いている様子を撮影するなど、撮影手法も色々組み合わせました。

来年3月11日は東日本大震災から十三回忌。しっかりと絆を次に繋がられるよう、私も撮影スタッフとして関わってまいります。

※声をそろえて経を読みあげること

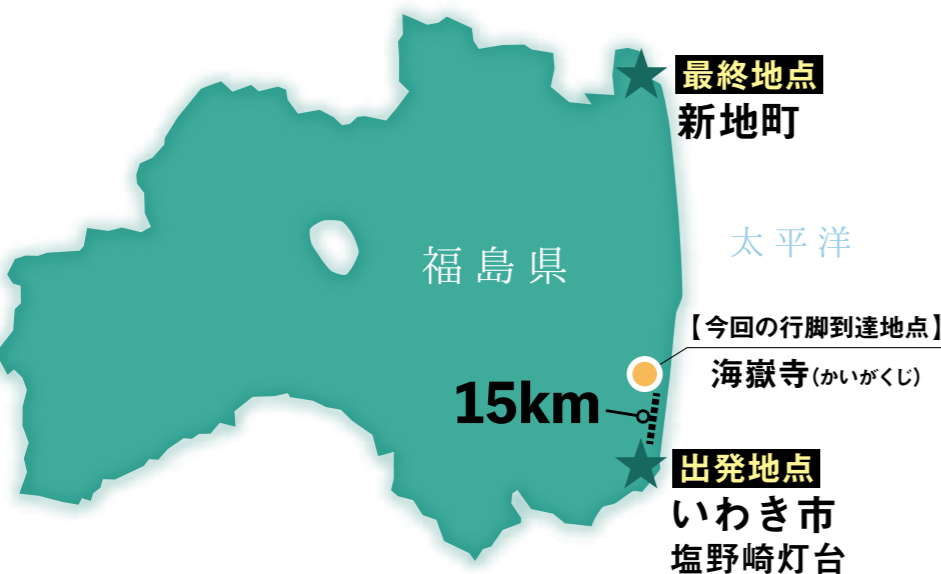
まずは体力づくりからはじめます

2日間に及んだ今回の撮影。一日ずつと歩きながらの撮影は初めてでしたが、体力をつけようと心に誓った撮影でした。今後どんな撮影にも適応できるように、走り込みと筋トレを強化しようと思えます！ (深川)



## 東日本大震災十三回忌奉讃事業 福島浜街道「絆の道」

東日本大震災から来年で十三回忌を迎えるのを前に、曹洞宗青年会が福島県内の海岸線を行脚しながら犠牲者を慰霊する「福島浜街道絆の道」。行程はいわき市から新地町の約140キロ。各地の慰霊碑や海岸で読経しながら、来年3月11日までに踏破する。



最終地点  
新地町

太平洋

【今回の行脚到達地点】  
海嶽寺(かいがくじ)

出発地点  
いわき市  
塩野崎灯台

福島県

15km